

「神はあなたがたのうちにより働きを始められました。そして神はこの働きを継続させ、イエス・キリストが再び来られる時に完成させてくださることを私は確信しています。」(ピリピ 1：6、NCV)

果物を早く熟成させようとするとう味が失われてしまうように、霊的成熟にも長い時間をかける必要があります。私たちは「どれだけ早く成長するか」に関心を持ちますが、神は私達が「どれだけたくましく成長するか」に関心を持っておられます。永遠に向かう私達の人生を、永遠の視点から見ておられる神様は、決して先を急がれないのです。キリストを受け入れた瞬間、神はあなたの人生に「上陸地点」を設けられます。あなたは、自分の人生を全て明け渡したつもりですが、その時点では自分で理解している領域しかゆだねることができていません。それはそれで良いのですが、神様はあなたの人生のすべての拠点を勝ち取るために何度も「攻撃」を繰り返され一生かかってキリストに似たものとなるという最終目標を達成させられるのです。

神様は、瞬時に私たちを変えることができになりますが、ゆっくりと時間をかけて育てられることを選ばれました。成長していくためには、どうしても時間がかかるのでしょうか？まず、私たちの理解の遅さがあります。聖書に登場するイスラエルの民のように、私たちはいとも簡単に神から教わったことを忘れ、古い生きかたに逆戻りしてしまうのです。次に、私達の古い習慣や生きかたが邪魔していることもあるでしょう。私達の問題や悪習慣の多くは一夜にして身についたものではないのですから、それを取り除くには時間がかかるのです。また、私達の多くは自分の現実を直視することを恐れています。自分の性格のゆがみと向き合うことへの不安が逃避という牢獄に私たちを閉じ込め続けるのです。そして、私たちは成長に伴う変化を嫌がるものです。変化を伴わずに成長はないものの、それに伴う恐れや損失、そして痛みを恐れるのです。古い生き方や欠陥は、ぼろぼろになるまで履きつぶされた靴のように自分に馴染んでいるものです。そしてその上に、しばしば私たちは「それが私流の生きかただ」というように、自己を確立していくものなのです。癖や傷、こだわりが自分の一部となり、手放したら自分はどうなるのかという不安を無意識のうちに抱えているのです。成長に時間がかかる最後の理由は、新しい習慣を身につける難しさがあげられます。キリストと似た者となるための方法は、新しい習慣の実践あるのみであり、それには時間が必要です。繰り返し実践することで、品性が磨かれていきます。このような人格形成の習慣を私たちは「霊的訓練」と呼ぶのです。

あせらず、神様と歩調をあわせていくにはどうしたらいいのでしょうか？まずは、自分の成長がノロノロとした歩みのように思えても、少しずつ「それぞれの季節に合わせて」前進していることを信じることです。次に、毎日あなたが学んでいることをノートや日記などにつけておくことです。神御自身について、自分自身について、人生について、人間関係について、神様が教えてくださっている洞察や教訓を書き留めるのです。定期的に振り返り、学んだことを自分のものにするものの重要性を聖書は教えています。次に、神様の時刻表と自分のそれとが一致することはなく、往々にして私たちは神様よりも急ぎがちであることを覚えることです。神様と自分自身に対して忍耐強くあることです。神様は決してあせらず、いつも予定通りに事を進められます。神様が偉大な魂をお造りになろうと思うときには、苦難や嵐をくぐりぬけることを許されるのです。最後に、気落ちしないことです。神がなかなか行動してくださらないと思える時があっても、神はあなたを拒絶されておられるわけではありません。これから先の道のりを考えるのではなく、自分がここまで来ることができたことを覚えて感謝するのです。まだ完成には至ってはいませんが、以前の自分とも違うのです。自分自身に焦るとき、また周りから焦らされる時、神様は自分をまだ完成されたわけではないことを思い出してください。とにかく前進しつづけることです。カタツムリでさえ、辛抱して(ノアの)箱舟に到達できたのですから！

今日のポイント：成熟に至る近道はありません。

考えてみましょう：霊的に成長していくうえで、もっと忍耐強く、そして根気強くあるべき分野は何でしょうか。